**事前課題について**

・演習事例は、ケアマネジメントの手法を用いて援助した事例とします。

・個人が特定されないよう、氏名等は仮名やアルファベットで表現するようにしてください。

・**この課題は研修の一環として取り組むものです。間違ってもいいのですべての欄を埋めるように取り組んでください。**

 **課題１**

【内容】

演習で使用したい事例をひとつ取り上げ、各自で下記提出物を作成のうえ、事前に提出いただきます。

【提出物】

（１）アセスメントシート（指定様式なし、事業所で使用している様式で可）

（２）申請者の現状（基本情報）シート　様式１

（３）サービス等利用計画　様式２

（４）サービス等利用計画【週間計画表】　様式３

【取り組み方】

1. 取り上げる事例を決めます。その際、必ず本人の同意を得るようにしてください。（同意書の提出は不要）
2. アセスメントシート、様式１～様式３を作成します。

作成にあたっては、日本相談支援専門員協会発行の『サービス等利用計画作成サポートブック』（日本相談支援専門員協会のホームページから閲覧できます）を参考にしてください。

※裏面もご確認ください

**課題２**

【内容】

自分や所属する事業所を取り巻く環境について、どんな社会資源があるか書き出してみましょう。

【提出物】

（１）社会資源アセスメント表　様式４

【取り組み方】

シートに沿って内容を自分なりに調べ、**空欄がないよう、すべての欄**に記入してください。

・自分の地域に該当する資源がない、という場合は、空欄とはせず、**「なし」**と記入してください。

・「事業所の特徴」欄については、その事業所が実施している一般的なサービス内容を記入するのではなく、相談支援専門員の視点から利用を考えた時に着目できる点など記入するようにしてください。（例：『就労支援Ｂ型』ではなく、『重度の身体障害の方も受け入れされている』など）

・この様式以外での提出は認めません（インターネットから引用したページを印刷し添付したものは不可）

※すべての提出物に受付番号（受講決定通知書に記載）と自分の氏名を記入し、順番に並べ、ホッチキスでとめた状態で、長崎県知的障がい者福祉協会　研修係まで郵送にて提出してください。提出期日を必ず守ってください。

＜期　日＞　１月５日（金）必着

**【宛先】　〒850-0001　長崎市西山4丁目604番地17**

**社会福祉法人ゆうわ会　ワークショップあさひ**

**長崎県知的障がい者福祉協会　研修係**

**※研修当日は、すべてをコピーのうえ、必ず持参してください。**